



本間としえ (公明党)

- 1.防災への女性参画と備蓄用品
- 2.感震ブレーカー普及加速のために
- 3.避難所のスフィア基準の導入を

- 問** 防災の男女共同参画の視点から、避難所運営に女性がリーダーシップを発揮しやすい体制を整え、女性や乳幼児向け用品・介護用品などの備蓄品整備を求めるがいかかか。
- 答** 10月に防災安全課に女性職員が配置され、避難所の運営や備蓄品の整備等に多様な視点を活かしている。大妻女子大学を母子避難所に指定し備蓄している。
- 問** 地震時の電気火災の出火を防ぐ感震ブレーカーの設置普及加速のために、費用助成を求めるがいかかか。
- 答** 感震ブレーカーと家庭用消火器に特化したチラシを配布し周知をして、費用助成については調査・研究する。
- 問** スフィア基準を根拠に、避難所になっている市内小学校体育館の空調機設置を求めるがいかかか。
- 答** 空調機設置については断熱・遮熱効果や契約手法の検討を行っており、今後、具体的な設置方法について検討を進める。
- 問** スフィア基準である避難生活の質向上のため、公園を利用したテント村を選択肢の一つとしてはいかかか。
- 答** 災害時のテント村の可能性を調査・研究する。



池田けい子 (公明党)

- 1.グリーフケアについて
- 2.2025年国勢調査の実施について

- 問** グリーフ(大切なものを喪失した体験により起こる深い悲しみ・悲嘆)は様々であり、定期的・継続的な“わかち合いの場”が必要ではないか。見解を伺う。
- 答** 現在は自死遺族等への支援が主だが、明年1月に様々な原因で死別を経験された方を対象にした集いの会を初めて行う。それをふまえ今後検討していく。
- 問** 5年に1度実施される国勢調査について、近年調査員不足が問題となっている。非接触による配布・回収の推進とともに、設置予定のコールセンターの機能強化で、安心して市民に協力していただけるよう求めたいがいかかか。
- 答** 調査員、電話対応業務を委託する事業者との事前連携をしっかりと行い、円滑に実施できるようにする。
- 問** 統計調査を装う不正行為「かたり調査」の被害にあわないよう、各関係所管と連携し、詐欺対策にしっかりと取り組むべきと考えられるがいかかか。
- 答** 警察とも連携し、様々な機を捉え市民への啓発を行い、「かたり調査」等の詐欺防止に努める。



橋本由美子 (日本共産党)

- 1.市民の要求に応じた「聞こえ」の支援を…8030運動の理解を
- 2.介護保険の具体的改善策を

- 問** 「聞こえ8030運動」について市の認識を伺う。
- 答** ささやき声が聞こえる30デシベルの聴力を80歳で維持することを目標とした運動と認識している。
- 問** そのためには、高齢期の検査や必要に応じた補聴器購入の補助事業を進めるべきではないか。
- 答** 健診時の聞こえの問診や検査は行っていない。補聴器助成とともに検討していきたい。
- 問** 中途失聴や難聴の方、ろう者への理解を高める場が必要ではないか。
- 答** 2025年3月に手話言語条例制定に合わせ、「耳の日フェスタ」をパルテノン多摩で計画している。
- 問** 要介護1・2を総合事業へ移行する動きがあるが本人はもちろん家族への負担も大きくなるのではないか。
- 答** 関係者の意見を踏まえ慎重を期すべきと考える。
- 問** 介護保険料の3年ごとの引上げをどう考えるか。
- 答** 後期高齢者増加に伴い給付費も増えるため、増加傾向は避けられないが、負担増を抑えるための取組みを行いたい。



おにづかこずえ (あすたま・維新)

- 1.児童虐待防止について
- 2.虐待サバイバーについて
- 3.保護猫補助金について

- 問** 小学校で児童虐待について児童に説明する機会が必要と思うが状況を伺う。
- 答** 長期休暇前や児童虐待防止推進月間等の時期を捉え、全校朝会や学級活動などにおいて、SOSを出すことの大切さや、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」など、虐待を含め困った時の対処の仕方を指導している。
- 問** 虐待サバイバーの市民の方が相談できる窓口があるか伺う。
- 答** 虐待サバイバー専門の窓口はないが、丁寧に話を聴き適切な支援機関に繋げることで支える、「気づく、つなぐ」取組みを行っている。
- 問** 来年度から東京都の保護猫補助金が減額されると聞いたが、今後の対応について伺う。
- 答** 東京都から来年度の保護猫補助金は補助率を2分の1に減額するとの通知があり、継続するには一般財源負担が生じる。今年度、初めて市役所で行った譲渡会の継続実施など、補助制度に頼らない飼い主不明猫を減らすための施策の検討が必要だ。

